授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Java III	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	6 単位
学 年	2年次		時間数	120 時間
開講学期	前 期		授業形態	演 習
履修区分	必 修		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	本講座はJavaのサーバサイドアプリケーション開発を学ぶ基本講座です。 JSP & サーブレットの仕組みを理解するため、実際にWebシステムの開発作業を通じて、実績に近いシステム開発を学習します。			
到達目標	・ Servlet と JSP を利用したサーバサイドアプリケーション開発ができる			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP 第5版 / SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	サーブレットとJSPの基本概念		
	2	サーブレットの基本		
	3	サーブレットの基本		
	4	サーブレットによるリクエストの処理		
	5	サーブレットによるリクエストの処理		
	6	いろいろなリクエストパラメータ		
	7	JSPの基本		
	8	JSPの基本		
	9	JSPによるリクエストの処理とエラーページ		
	10	いろいろな画面遷移		
	11	いろいろな画面遷移		
	12	サーブレットの詳細		
	13	HTTPのリクエストとレスポンス		
	14	JavaBean		
15	スコープとリクエスト属性			
授業の進め方・履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加し、知識を吸収する意欲を持ちましょう 集中して授業内容を理解し、質問や議論に積極的に参加しましょう 新しい概念や知識に対して柔軟な考え方をもち、理解に時間がかかっても忍耐強く取り組みましょう 			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および理解度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100 ~ 90 点 A : 89 ~ 80 点 B : 79 ~ 60 点		C : 59 ~ 50 点 D : 49 点以下 ※評価基準 S ~ C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	キャリア支援	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	4 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職準備のための授業です。本科目の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけでなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	内定取得及び社会人としての基礎を身に付ける			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	現状分析と今後の活動スケジュール		
	2	送付状について、封筒表書き練習、封入方法		
	3	ビジネスメール、電話での問い合わせ、オンライン試験上の注意		
	4	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：ビジネス文書作成トレーニング		
	5	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：ビジネス文書作成トレーニング		
	6	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：ビジネス文書作成トレーニング		
	7	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	8	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	9	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	10	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	11	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：次年度生に向けて就活プレゼン作成		
	12	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：暑中見舞いの書き方		
	13	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：名刺交換や来客マナーについて		
	14	未内定者：応募準備と就職試験対策／内定者：名刺交換や来客マナーについて		
15	就職活動振り返りと今後のスケジュール			
授業の進め方・履修の心構え	いよいよ就職活動の本番がスタートです。自身でスケジュールを立て、計画的に進めましょう。応募書類作成や面接練習は早に準備するよう心掛けましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 就職活動の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Webサイト構築	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	3単位
学年	2年次		時間数	60時間
開講学期	前期		授業形態	演習
履修区分	選択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	スマートデバイスが普及しWebの利用形態も多様化しています。様々なデバイスに対応可能なWebデザイン手法について、実践を通して学びます。			
到達目標	ゼロから自分でデザインしWebサイトを構築できる			
教科書・教材	Figma これからはじめるFigma Web・UIデザイン入門			
授業計画	回	内容		
	1	Webデザインのための環境構築		
	2	ワイヤーフレーム作成方法		
	3	既存のサイトからワイヤーフレーム作成		
	4	デザインキャンプ作成方法		
	5	デザインキャンプ作成方法		
	6	デザインキャンプ作成方法		
	7	デザインキャンプ作成方法		
	8	デザインキャンプからWebサイト作成演習		
	9	デザインキャンプからWebサイト作成演習		
	10	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	11	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	12	オリジナルWebページ構築～キャンプデザイン作成		
	13	オリジナルWebページ構築～キャンプデザイン作成		
	14	オリジナルWebページ構築～キャンプデザインを元にコーディング		
15	オリジナルWebページ構築～キャンプデザインを元にコーディング			
授業の進め方・履修の心構え	Figmaの使い方を学び、ゼロからデザインを作成しそこからWEBサイト作成することができるようになっていきます。コーディングをデザインに沿って正確に行えるようにします。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Word演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Wordの基礎となる設定を理解し、ビジネス文書や見栄えのする文書を作成・編集するための高度な技術を学習していきます。さらにもう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	高度な編集技術を身に付け、文書処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Wordマスター演習問題集 2021/2019/365対応／ムゲンダイ出版 2021対応Word文書処理技能認定試験1・2級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	入力練習と文書編集		
	2	段落書式		
	3	表の挿入と編集		
	4	差し込み印刷		
	5	ヘッダー・フッター		
	6	スタイル		
	7	グラフィックスの挿入		
	8	相互参照・目次・索引		
	9	変更履歴とコメント		
	10	検定試験対策 1 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	11	検定試験対策 2 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	12	検定試験対策 3 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	13	検定試験対策 4 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	14	検定試験対策 5 (知識・実技問題の実施及び解説)		
15	検定試験対策 6 (知識・実技問題の実施及び解説)			
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらWordを使いこなす応用力や考える力を養います。 1級取得を目指してほしいです。			
目標資格	Word文書処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	マネジメント	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	IT技術者としてのシステム開発の基本そしてプロジェクトマネジメント等の管理業務の基礎を学習していきます。基本情報技術者試験の科目Aで出題される分野の問題を理解することです。扱う内容は基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の出題範囲及びスキル標準に則したものです。			
到達目標	過去問題を中心に試験対策をしていく中で、実際のシステム現場に見立てた模擬的なマネジメントを試みます。基本情報技術者試験科目A、応用情報技術者試験午前問題マネジメント分野の解答を目標とします。			
教科書・教材	IT戦略とマネジメント／(株)インフォテック・サーブ IT戦略とマネジメントサブノート／(株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	システム開発技術①		
	2	システム開発技術②		
	3	ソフトウェア開発技術①		
	4	ソフトウェア開発技術②、システム開発環境①		
	5	システム開発環境②、Webアプリケーション開発		
	6	第4部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	7	プロジェクトマネジメントの概要・プロジェクトマネジメントのプロセス①		
	8	プロジェクトマネジメントのプロセス②		
	9	第5部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	10	サービスマネジメントの概要・サービスマネジメントの手法①		
	11	サービスマネジメントの手法②		
	12	第6部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	13	システム監査①		
	14	システム監査②、内部統制、第7部の総まとめ【単元テスト・確認テスト】		
	15	総まとめ【マネジメントI 確認テスト】、管理運用におけるマネジメント		
授業の進め方・履修の心構え	教科書をベースに学習し、過去の基本情報技術者試験科目A問題、応用情報技術者試験午前問題で出題された問題を解き学習した内容を復習していきます。 わからない点はそのまま放置せず、積極的に質問したり調べたりしましょう。			
目標資格	修了認定に係る試験(基本情報技術者試験 科目A免除) 基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	グループワーク II	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー-学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	総合制作を間近に控えたクラスを対象に開講。システムや作品を作り上げるために学年を越えて意思交換、意見交換をスムーズに行うために簡単なグループワーク（チーム制作）を通して学ぶことを目的とします。			
到達目標	簡単なグループワークを通して他学年との交流深め、他者との意思交換できる力を身につける。 1. 開発共有ツール（Git）の知識をみにつける。 2. 他学年との意思交換、意見交換を行う。 3. チームで1つのもの作成を行う。			
教科書・教材	オリジナル			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス、Git入門①		
	2	Git入門②		
	3	設計、作成①		
	4	設計、作成②		
	5	設計、作成③		
	6	設計、作成④		
	7	設計、作成⑤		
	8	プレゼン		
	9	設計、作成①		
	10	設計、作成②		
	11	設計、作成③		
	12	設計、作成④		
	13	設計、作成⑤		
	14	設計、作成⑥		
15	プレゼン			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	国家試験対策 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通		単位数	2 単位
学 年	2年次		時間数	30 時間
開講学期	前 期		授業形態	講 義
履修区分	選 択		教員の実務経験	有
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策 I」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに科目Bの問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材	基本情報技術者科目B問題集／(株)インフォテック・サーブ 基本情報技術者科目B模擬試験／TAC(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	2	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	3	科目B問題の内容理解と練習 (データ構造)		
	4	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	5	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	6	科目B問題の内容理解と練習 (アルゴリズム)		
	7	小テスト		
	8	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	9	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	10	科目B問題の内容理解と練習 (プログラミング)		
	11	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	12	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	13	科目B問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	14	小テスト		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策 I」を履修したことが条件になります。科目Aの問題よりさらに専門的な知識を求められるので、今まで学習した基礎知識の復習が大切になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 模擬試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	2DCG演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	デザイナーの現場で使われることの多いAdobeのIllustratorについて、仕事として扱うための実践的なノウハウを学習します。デザインパーツの作成手順や、印刷媒体・Web媒体におけるポイントをおさえて魅力的な作品を制作しましょう。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Illustratorの基本操作を理解する ・作業効率化のための機能を扱うことができる ・印刷媒体・Web媒体作成時のポイントを理解し、自力で作品を制作できる 			
教科書・教材	Illustratorデザイン 仕事の教科書 プロに必須の実践TIPS&テクニック/MdN			
授業計画	回	内 容		
	1	イントロダクション/Illustratorの基本機能		
	2	Illustratorの基本機能		
	3	デザインパーツの作成		
	4	デザインパーツの作成		
	5	デザインパーツの作成		
	6	作業効率化の機能について		
	7	作業効率化の機能について		
	8	印刷(Web)媒体で注意するポイント		
	9	フライヤー作成		
	10	フライヤー作成		
	11	バナー画像作成		
	12	バナー画像作成		
	13	ランディングページ作成		
	14	ランディングページ作成		
15	ランディングページ作成			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況 (2) 制作物の出来栄 (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ITインフラ演習	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ネットワークに関する基礎知識から始め、組織の規模等に応じた適切なネットワーク構成や、機器配置について、セキュリティ面を意識しながら学習していきます。			
到達目標	ネットワークについての基礎知識の習得、サーバやセキュリティとの関わりの理解することを目標とします。			
教科書・教材	いちばんやさしい新しいサーバの教本/㈱インプレス			
授業計画	回	内 容		
	1	ネットワークがつながる理由について		
	2	オンプレミスとクラウドについて		
	3	PCを分解してハードウェア構成を知る		
	4	TCP/IPについて		
	5	IPアドレスの計算		
	6	パケットキャプチャでネットワークの流れを観察する		
	7	サーバについて		
	8	仮想サーバ上にWebサーバを構築する①		
	9	仮想サーバ上にWebサーバを構築する②		
	10	仮想サーバ上にWebサーバを構築する③		
	11	仮想サーバより便利なコンテナサーバについて		
	12	ネットワーク図の作成演習①		
	13	ネットワーク図の作成演習②		
	14	ネットワーク図の作成演習③		
15	ネットワーク図の発表			
授業の進め方・履修の心構え	教科書をもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ゲーム開発演習Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1単位	
学年	2年次	時間数	15時間	
開講学期	前期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ゲームコンセプトやテーマを深く理解し、独自のゲーム企画案を立案できる ゲームプレイ体験を向上させるための要素およびユーザー体験を理解できる ゲーム企画書の構成や具体的なゲームアイデアを文書化し、プレゼンテーションができる			
到達目標	オリジナルゲーム企画の立案 アナログゲームコンテスト「ゲームアイデアコンテスト」へ応募			
教科書・教材	オリジナル教材			
授業計画	回	内容		
	1	ゲームデザイン概論		
	2	ゲームデザイン概論		
	3	ゲームコンセプト分析		
	4	ゲームシステム分析		
	5	ゲームシステム分析		
	6	ユーザー体験分析		
	7	アナログゲーム改修演習		
	8	アナログゲーム改修演習		
	9	アナログゲーム改修成果発表		
	10	企画書作成基礎		
	11	企画書作成演習		
	12	アナログゲーム制作		
	13	アナログゲーム制作		
	14	アナログゲーム制作		
15	アナログゲーム制作			
授業の進め方・履修の心構え	ゲームアイデアコンテスト応募に向け、遊びとは何か？面白くなる理由を掘り下げます。 ・遊ぶだけではなく、なぜ面白いのかを常に考えるようにしてください。 ・レポートの作成があります ・コンテスト応募では、完成を目指してください。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	総合制作	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	8 単位	
学 年	2年次	時間数	240 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、これまでに学んだことの集大成です。プロジェクトを立ち上げてシステム開発に取り組みます。チームメンバーとコミュニケーションをはかり、協力してシステムを完成させます。同時にシステム開発工程についても理解を深めていきます。</p>			
到達目標	<p>本学でこれまで履修した科目で学んだ知識・技術を活かし、チームで成果物を完成させる。</p>			
教科書・教材	特になし			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・プロジェクトの概要説明・制作物の決定		
	2	制作 (要件定義書作成)		
	3	制作 (要件定義書作成)		
	4	制作 (仕様書作成)		
	5	制作 (仕様書作成)		
	6	制作 (仕様書作成)		
	7	制作 (コーディング)		
	8	制作 (コーディング)		
	9	制作 (コーディング)		
	10	制作 (コーディング)		
	11	制作 (単体テスト)		
	12	制作 (単体テスト)		
	13	制作 (結合テスト)		
	14	制作 (結合テスト)		
15	制作発表準備・制作発表			
授業の進め方・履修の心構え	<p>毎回の始まりと終わりにチームミーティングを行います。 チーム制作の為、報告・連絡・相談を意識して制作に努める必要があります。</p>			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) プロジェクトの参加状況および貢献度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物および制作発表による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	JSP・Servlet演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本講座はJavaのサーバサイドアプリケーション開発を学ぶ応用講座です。 JSP & サーブレットの仕組みを理解するため、実際にWebシステムの開発作業を通じて、実績に近いシステム開発を学習します。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベースを利用したアプリケーション開発ができる ・ MVCモデルに準拠したアプリケーション開発ができる 			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP 第5版 / SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内容		
	1	セッションとクッキー		
	2	セッションとクッキー		
	3	外部データの取り込み		
	4	アクションタグ		
	5	EL		
	6	EL		
	7	JSTL		
	8	JSTL		
	9	Javaとデータベースの連携		
	10	Javaとデータベースの連携		
	11	DAOオブジェクト		
	12	MVCモデルについて		
	13	単位認定課題		
	14	単位認定課題		
15	単位認定課題			
授業の進め方・履修の心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に授業に参加し、知識を吸収する意欲を持ちましょう ・ 集中して授業内容を理解し、質問や議論に積極的に参加しましょう ・ 新しい概念や知識に対して柔軟な考え方をもち、理解に時間がかかっても忍耐強く取り組みましょう 			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および理解度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定課題の制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	キャリアデザイン	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	社会人として働くうえで、多種多様なビジネスシーンにおける様々なビジネスマナーが存在します。本科目では、社会人としてより早く自立し、円滑に仕事ができるよう知識・スキルを学びます。			
到達目標	卒業後に社会人として、自信をもって行動できる基礎を身に付ける。			
教科書・教材	改訂新版 入社1年目ビジネスマナーの教科書／プレジデント社オリジナル			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス、社内のビジネスマナー 1 ～ 社会人としてあるべき姿		
	2	社内のビジネスマナー 2 ～ 社内ルール		
	3	社内のビジネスマナー 3 ～ 仕事の仕方		
	4	第 7 章 報告・連絡・相談の基本		
	5	第 8 章 来客対応の基本		
	6	第 9 章 他社訪問の基本		
	7	確認テスト		
	8	第12章 会食の基本		
	9	社会人スキルの基礎		
	10	ディスカッション		
	11	第13章 基本的な慶弔マナー		
	12	第14章 基本的な慶弔マナー		
	13	OJTの基礎		
	14	ディスカッション		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	ビジネスマナーに続く科目になります。社会人としての振る舞いを身に付けましょう。毎週、授業開始10～15分程度で、前週に学んだことの振り返りとして小テストを行います。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 課題の提出状況、小テスト (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点		C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Access演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	データベースの基本から「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」といった主要機能、関数やマクロまでを、データベースの活用事例を通じて、実務レベルにおけるAccessの利用方法・操作技法を習得します。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	Accessの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、ビジネスデータベース技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Access 2019 テキスト基礎編／ムゲンダイ出版 2021対応Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	Accessの基礎		
	2	テーブル作成と編集		
	3	フォーム作成と編集		
	4	クエリ 1		
	5	クエリ 2		
	6	クエリ 3		
	7	クエリ 4		
	8	リレーションシップ		
	9	レポート作成と編集		
	10	サブフォームとサブレポート		
	11	マクロ		
	12	検定試験対策 1		
	13	検定試験対策 2		
	14	検定試験対策 3		
15	検定試験対策 4			
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 学習内容が多く進み方も早いです。欠席しないようにしてください。			
目標資格	Accessビジネスデータベース技能認定試験 2 級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Web応用 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	webサイトにおいて動きのあるサイトを作成する方法を学びます。 そのために必要な最新のJavaScriptの基礎知識とjQuery、CSSを学びます。			
到達目標	WEBサイトに様々な動きやデザインを組み込むことができるようになり、それを活用してサイトを構築する。			
教科書・教材	確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	JavaScriptの環境構築とSCSSについて		
	2	JavaScriptの基本文法		
	3	JavaScriptのイベントとオブジェクト		
	4	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	5	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	6	ゲーム制作課題		
	7	ゲーム制作課題		
	8	jQueryについて/ナビゲーションメニューやアニメーション		
	9	WebAPIについて		
	10	WebAPI課題		
	11	単位認定課題①		
	12	単位認定課題②		
	13	単位認定課題③		
	14	単位認定課題④		
15	単位認定課題⑤			
授業の進め方・履修の心構え	最初は教科書に沿って基礎的なことを学び、演習で自分で調べて実装する力を身に着ける。学んだことを生かして、プログラミングしWebページに組み込むことができる。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	プレゼンテーション	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目では、「PowerPoint演習」で学んだ内容を基に、プレゼンテーションの本質を学んでいきます。</p> <p>プレゼンテーションの本質を学び、仕事・日常生活における人を動かす術を学びます。</p>			
到達目標	総合制作発表で行うプレゼンテーションの資料作成と発表準備を行う。			
教科書・教材	いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本 人気講師が教える「人の心をつかむプレゼン」のすべて【第2版】/インプレス			
授業計画	回	内容		
	1	科目説明、プレゼン力演習1		
	2	プレゼン力演習2		
	3	プレゼンテーションの本質を①		
	4	プレゼンテーションの本質を②		
	5	人を動かすプレゼンテーション①		
	6	人を動かすプレゼンテーション②		
	7	実践演習1		
	8	実践演習2		
	9	プレゼンテーション資料作成 前編		
	10	プレゼンテーション資料作成 後編		
	11	総合演習1		
	12	総合演習2		
	13	総合演習3		
	14	練習で自信をつける、総合演習4		
15	総合演習5			
授業の進め方・履修の心構え	「プレゼンテーションI」を履修したことが条件になります。ディベートを通して自身の意見を発信し、協調性を高めることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況及び完成度</p> <p>(2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p> <p>(3) 総合制作発表におけるプレゼンテーションでの評価</p>			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	3DCG演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Blenderを使用した3Dモデル制作を学習します。まずは基礎的な内容から始め、レンダリングやアニメーション等の3DCGには欠かせない技術を学習します。			
到達目標	基本的な3D技術の理解及び習得を目標とする。習得した技術を使いオリジナルのモデルを作ります。			
教科書・教材	作りながら楽しく覚える Blender／ラトルズ			
授業計画	回	内 容		
	1	Blenderの基本操作・初期設定		
	2	モデリング・モデリングの基礎		
	3	モデリング・キャラクター		
	4	モデリング・キャラクター		
	5	質感設定 (マテリアル・UVテクスチャ)		
	6	質感設定 (マテリアル・UVテクスチャ)		
	7	モデリング・応用		
	8	カメラ・ライティング・レンダリング		
	9	カメラ・ライティング・レンダリング		
	10	モデリング (背景) +レンダリング		
	11	モデリング (背景) +レンダリング		
	12	復習と自由制作準備		
	13	自由制作		
	14	自由制作		
15	制作物発表および評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、問題解答と演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	ゲーム開発演習 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	15 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	UEFNを用いてゲーム内のマップやステージの設計。実装ができる レベルデザインの基本的な理論を理解し、ゲームの環境設計や空間利用、プレイヤーの導線を考慮した設計ができる ゲームデザインの学びを振り返り、改善と自己評価ができる			
到達目標	独自企画をレベルデザインに落とし込み、スタートからゴールまでゲームプレイできる 成果物を適切にプレゼンテーションできる			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	コンテスト応募振り返り		
	2	イベント参加・セッション聴講		
	3	ゲームAI作成演習		
	4	ユーザーインターフェース概論		
	5	レベルデザイン概論		
	6	レベルデザイン 課外演習		
	7	レベルデザインダイアグラム		
	8	UEFN入門		
	9	レベルデザイン演習		
	10	レベルデザイン演習		
	11	レベルデザイン演習		
	12	レベルデザインドキュメント作成		
	13	レベルデザインドキュメント作成		
	14	レベルデザイン プレゼンテーション		
15	1年の振り返り			
授業の進め方・履修の心構え	UEFNを用いてゲームのステージを作成します。どうしたら面白くなるのかを常に考えながら制作を心がけてください。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。科目A試験及び、科目B試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	科目A試験問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	科目A試験問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	科目A試験問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	科目A試験問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	科目A試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	科目A試験問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	科目A試験問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	科目B試験問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	11	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	12	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	13	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
	14	科目B試験問題の内容理解と練習 (アルゴリズムとプログラミング)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	科目A試験免除保持者は科目B試験問題を、未保持者は科目A試験・科目B試験両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	MCP受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点</p>		<p>C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2025年度	科目名	MOS受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
	15	問題の内容理解と練習 (Access)		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格</p>	